

「令和5年度病虫害発生予報第6号」の発表について

○向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稻では、斑点米カメムシ類の発生が、東北、南関東、東海、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜では、オオタバコガの発生が、関東及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹では、なしのハダニ類の発生が、北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、水稻のいもち病等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病虫害防除所のホームページ等を参照してください。

国の病虫害発生予察情報及び都道府県病虫害防除所のリンク

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

気象

気象庁の向こう 1 か月の予報（8月3日付け）では、気温は北日本、東日本及び西日本で高い、沖縄・奄美で平年並みか高いと予想されています。降水量は、北日本、東日本及び西日本の日本海側で平年並み、西日本の太平洋側と沖縄・奄美で平年並みか高いと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL: https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html（外部リンク）

水稻で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稻	いもち病	北海道、北東北、近畿	南東北、東海、中国、四国、北九州
	コブノメイガ	中国	北東北、近畿、九州
	セジロウンカ		北東北、東海、四国
	ツマグロヨコバイ	北陸	近畿
	ニカメイガ	北陸、中国、北関東	東海
	斑点米カメムシ類	東北、南関東、東海、中国、四国	北関東、北陸、近畿、北九州
	縞葉枯病 (ヒメトビウンカ)		北東北、南関東、東海、近畿、中国
	紋枯病	北関東、中国	東北、南関東、近畿、四国、北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**斑点米カメムシ類**の発生が、東北、南関東、東海、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、岩手県、山形県、福島県、埼玉県、千葉県、愛知県、島根県、山口県から注意報が発表されています。本虫は、水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田に侵入し穂を加害します。被害の程度は、出穂期、水田への本虫の侵入量、カメムシの発生種の構成等によって異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、適期に防除を実施してください。

また、水田周辺雑草の除草は本虫の発生量の抑制に効果的ですが、出穂期直前の除草は、本虫の水田への侵入を助長し被害を増加させるおそれがあるため、出穂期の10日前までに完了してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アザミウマ類		北海道、北陸
	ハダニ類	四国、北九州	関東、南九州
	うどんこ病	南九州	中国
	炭疽病	東海、北九州	中国、四国
きゅうり	コナジラミ類	北陸	四国
	炭疽病	北東北、四国	南東北
	べと病	北関東	北東北、四国
トマト	コナジラミ類	南関東	南東北、北関東、四国
なす	アザミウマ類		南東北、関東、北陸、東海、近畿
	ハダニ類	東海	南東北、関東、四国
ねぎ	アザミウマ類	南関東	東北、北陸、東海、近畿、四国、北九州
	黒斑病	北東北	南東北、南関東、北陸、北九州
	さび病	北東北	北陸
きく	アザミウマ類		南東北、北陸、近畿、南九州
	ハダニ類		南東北、東海、近畿、中国、四国
作物共通	オオタバコガ	関東、近畿	東北、東海、四国、南九州
	シロイチモジヨトウ	北関東	北陸、東海、近畿、四国
	ハスモンヨトウ	四国	北関東、北陸、東海、近畿、中国

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

作物共通

・**オオタバコガ**の発生が、関東及び近畿の一部の地域で多くなると予想されており、滋賀県から注意報が発表されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下し、また、幼虫が植物体に食入してからでは防除が困難となるため、ふ化してから食入する前の若齢幼虫期が防除適期になります。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、適期に防除を実施してください。

果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かき	カイガラムシ類	四国	東海、中国
	炭疽病		近畿、四国、中国、北九州
かんきつ	アザミウマ類		東海、南関東、北九州
なし	シンクイムシ類		関東、北陸、中国、九州
	ハダニ類	北九州	北関東、北陸、東海、中国
	黒星病		北関東、北陸、東海、中国、北九州
ぶどう	べと病	北九州	東海、四国、中国
	晚腐病	北東北	近畿
もも	シンクイムシ類		北陸、近畿、四国、中国
	ハダニ類	北陸	南東北、東海、中国
りんご	ハダニ類	北東北	東海
	斑点落葉病	北東北、北関東	南東北
茶	アザミウマ類		東海、近畿、九州
	チャノホソガ	近畿、九州	
	チャノミドリヒメ ヨコバイ	近畿、北九州	東海、南九州
	ハマキムシ類		近畿、東海、九州
	炭疽病	九州	近畿

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

なし

・**ハダニ類**の発生が、北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和5年7月26日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注) 重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月26日	秋田県	水稻	いもち病
7月27日	滋賀県	野菜類、大豆、花き類	タバコガ類
7月28日	岩手県	水稻	斑点米カメムシ類
7月28日	岩手県	りんご	ハダニ類
7月31日	埼玉県	水稻	斑点米カメムシ類
7月31日	山口県	水稻	斑点米カメムシ類
8月1日	福島県	水稻	斑点米カメムシ類
8月1日	島根県	水稻	斑点米カメムシ類
8月1日	千葉県	水稻	斑点米カメムシ類
8月1日	愛知県	いちご	イチゴ炭疽病
8月1日	愛知県	水稻	斑点米カメムシ類
8月3日	山形県	水稻	斑点米カメムシ類

注) 警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月27日	香川県	- ※	トマトキバガ

※：フェロモントラップへの誘殺

注) 各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

見慣れない病害虫被害が発生していた場合の対応

植物防疫法の改正により、新たに重要病害虫発生時の通報に関する規定が追加されました。我が国未発生又は我が国の一部のみが発生している重要病害虫が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生産に重大な損害を与えたり、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こういった重要病害虫の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病害虫の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病害虫被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病害虫防除所等にお知らせください。

植物防疫所の連絡先

参照URL:<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>

都道府県の病害虫防除所の連絡先

参照URL : <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujoshou.html>

用語解説

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量（程度）)

多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

（平年値は過去10年間の平均）

(参考) 今後の発表予定日
第7号：9月13日(水曜日)
第8号：10月11日(水曜日)
第9号：11月15日(水曜日)
第10号：令和6年3月13日(水曜日)

(参考) これまでの発表
第1号：4月12日(水曜日)
第2号：5月17日(水曜日)
第3号：6月14日(水曜日)
第4号：7月12日(水曜日)
第5号：7月26日(水曜日)

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、城野、吉田、河合

代表：03-3502-8111(内線4562)

ダイヤルイン：03-3502-3382